

ご利用は計画的に

「ご利用は計画的に」なんて言葉とは無縁。行き当たりハツリを体言する私W。車検が2週間後に迫った3月某日。遊ぶことを優先し、ディーラーからの電話を無視し続けておおよそ1ヶ月。そろそろマズイと洪々店を訪れることにした。が、やはり神様は自分の悪行を見逃してはくれなかった。見積りの結果は42万円。もう2年乗ろうと昨年12月に新品のスタッドスタイヤを買ったばかりなのに…。確かにこのオデッセイに愛着は無かった。(オデッセイを愛する方がいましたらスマセン)。購入当時付き合っていた女の子。すぐに彼女色に染まってしまう自分は、「ドライブに行ったら車で泊まれるね♡」なんて甘い言葉に流され、大好きなセダンを諦めてのお買い上げ。ピンク色の妄想も実現しないまま、そんな彼女も何処へやら。6年間愛車とするも洗車すらした記憶が無い…。人生での大きな買物、「家」と「車」。独り身の自分は「家」の購入など考えたことが無い。次回こそ好きな車をじっくりと選んでやろうと身構えていたのに、車検が間近というこの状況下がそれを許さなかった。貧乏症ゆえか、「新品のタイヤを使いまわせる車で!」なんて条件をつけたことを今となって後悔する。営業マンである彼がすぐに見つけてきた車はこれまたオデッセイ。そりゃ勿論タイヤは使えるだろう。しかしまた同じ車とは…。同じものを1週間食べ続けても平気な自分も、さすがにあと6年もこの車と付き合う気にはなれない。が、彼の「もう時間が無いよ」の一言で、「お願いします」と言ってしまう自分。あれだけ皆の前で「オデッセイなんて

嫌い」と公言していた私。「また、オデッセイにしたの? よっぽどお気に入りなんだね!」なんて馬鹿にした友人の台詞が飛び出すのは目に見えている。「全塗装した」と死んでも言い張ることを誓い、この大きな買物の件は墓場まで持っていくことを心に決めた。今回は6年後になるだろう乗り換えまでに、もう少し成長していきたいと心底思う…。(W)



目に青葉 山ほとぎす 初鰹

ご存知、この句は江戸中期の俳人、山口素堂(やまぐちそどう)の有名な一句です。そうなんです!! 毎年、4月の声を聞くと待ち焦がれた味“初鰹”がやって来ます。やって来ると言っても我北海道に来るわけではなく、この一句が詠まれた相模湾に面した鎌倉の話なのであります。“初鰹”とは厳密には旧暦4月1日、現在の5月初旬(立夏)から1週間以内に関東沖で獲れたものだけを“初鰹”と呼ぶのです。鰹は南の暖かい海に生まれて2年魚になった1月頃、7月沖から黒潮に乗り、2~3月に九州沖を北上、4月になると駿河湾沖でイワシを食べて丸々と太ります。そして5月に静岡県や千葉県などの漁港に水揚げされます。4月初め頃の土佐沖では、まだ脂が乗っていないから鰹節にピッタリ…葉味たっぷりの夕暮で、関東沖だと脂が乗って刺身なら、こんな旨い魚はないのだ。江戸時代から女房を質に入れても食べたい初鰹…初ものにも、ことさらうるさかった江戸っ子は「初物を食うと75日長生きする」初鰹はその10倍長生きすると言って珍重したようです。初鰹にまつわるエピソードや諺の類がたくさん有るのも、この魚くんの人徳ならぬ魚徳かも!! “俎板(まないた)に 小判1枚 初鰹” “初鰹 銭と芥子(からし)で 二度泪” “初鰹にわかになくなる魚” などなど川柳にもこと欠かないのです。さて、この鰹くんをいかに旬な時期に新鮮なうちに食べるには産地に出向くしかないのです。と言うのも、我々北国の住人は、初鰹の時期は過ぎて黒潮に乗って



北上する鰹が来るのを待ち続けても永遠にめぐり会えないのです。その訳は、関東沖を北上した鰹はなぜか宮城県の金華山沖でUターンして“戻り鰹”となって南へ帰ってしまうのです。なんともつれない鰹くんなのであります。昔から「去るものは追わず」と言いますが、鰹くんには恋焦がれている小生としては簡単に諦めることは出来ず、『いざ鎌倉!』ならぬ、いざ千葉県か静岡県の何処かへ馳せ参じよう…と夢みるいつもの春、4月でした。(K)



森忠新聞

4月号
(第63号)

平成25年4月1日(月)
発行元:株式会社 森忠
札幌市白石区
北郷3-2-1-3
TEL011-876-1133
FAX011-876-1144
<http://www.morichu.jp/>

こんなお弁当箱はいかが?

4月、入園、入学、就職という季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか? さて、今ちまたで増えている「弁当男子」と「弁当女子」。彼らは毎日お弁当を作ることで、自分のムダ遣いと健康を管理しているのです。そんな彼らは、おいしくて安上がりな「お弁当」という文化を見直し、再びそのよさを世の中に知らしめた新人類ともいえます。会社にお弁当を持っていく人が増えたおかげで、お弁当箱の種類も豊富になりました。バッグにそのまま入れてもかさばらないタイプのものから、屋まで保温&3段重ねできるもの、ホーロー製&アジア風のお弁当箱まで、実にさまざまです。さて、そんな中、弁当男子&女子が、「果たして使うのか!」と疑問を覚えるアイテムを発見しました。お弁当箱が家電になっちゃった! という異色の顔を持つ弁当箱「HOTデッシュ」です。このお弁当箱はなんと「炊飯器つきのお弁当箱」なのです。会社のお昼ご飯に、まっ白、木杓、ツツツの炊き立てご飯が食べられる、という今までにない強引な発想と、それもアリかもと思わせてしまうコンパクトさと実用性。このふたつを兼ね備えた「HOTデッシュ」は、いま弁当業界(!?) 注目のアイテムなのです。「家で詰める」から「会社で炊く」へ。弁当新時代の到来! なのです。あなたもこの4月から、炊きたてご飯弁当を始めてみてはいかがですか?(T)



HOTデッシュ 定価¥6,980
セットして45分で炊き上がり。
コンセントがあれば何処でも炊き立てのご飯が食べられます。



いたるところにスタバを!!

みなさん休日はいかがお過ごしですか? 僕は、もっぱらスタバ(スターバックス)に行きます。「あんなコーヒーに400円も払うのはもったいない。」と思われる方も多いでしょう。実際のところ、僕も嫁とシェアする所謂『一杯のかけそば』状態なので偉そうなことは言えないのですが、コーヒーの味もさることながら、接客が素晴らしいのです。しかも男性スタッフもすこぶる爽やかで、おじさんつい気分よくなってスコーンも頼みたくなります。(スコーンを頼んだ時点で、普通にランチ代より高いです。大丈夫。少ないお小遣いが減るだけなので。) そんなスタバとの出会いは忘れもしない大学生の夏。まだ札幌はもちろん、東京にもそれほど店舗がない頃に、東京に住む友人に「電車に乗ってキャラメルフ

ペチー飲みに行こうよ。」と誘われ、目黒のスタバで飲んだ時の衝撃たるや、小学生の頃に見た杉本彩のグレイア以来の衝撃でした。この出会いが、全ての始まりでした。もう、ドールには戻れない体になってしまったのです。そんな僕の今年の目標は、義理の妹がスタバ発祥の地シアトルにいるので、1号店でアメリカ限定サイズの「Trenta/トレンタ」(916ml)のスターバックスを飲むことです。絶対に飲みきれませんが(笑)(A)



お知らせ

日立電動工具の一部製品につきまして電気用品技術基準の「電気用品の雑音の強さの測定方法」が改正されたことに伴い、2013年4月1日より対象製品の生産が出来なくなります。ただし、流通在庫については販売が出来ますので詳しくは森忠までお問い合わせ下さい。



当社のスノーダクトカバーが北海道リサイクル製品の認定を受けました。この制度は道内で製造され一定の基準を満たした製品を北海道が認定し、リサイクル製品の利用を促進する制度です。当社スノーダクトカバーを今後ともよろしく御願い致します。